

福祉の次世代産業を拓く 勉強会

- ひら



在宅介護促進に向けた 住まいのアレンジと 介護ロボットの普及

定員10名・参加無料
(先着順・要申込)

第1回

2023年12月19日(火)

14:30 - 16:00 (開場 14:20)

国立長寿医療研究
センター内
リビングラボにて講師：毛利 志保 (日本福祉大学 健康科学部
福祉工学科 建築バリアフリー専修 准教授)加藤 健治 氏 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
健康長寿支援ロボットセンター
ロボット臨床評価研究室 室長)内容：リビングラボ説明 (介護ロボット説明含む) 加藤健治 氏
建築業の方による高齢者在宅リフォーム事例の紹介 (予定)
ディスカッション 加藤 健治 氏 毛利 志保 准教授
(ファシリテータ： 福田 秀志 日本福祉大学 健康科学研究所長)

お申込みはこちらから

[https://www.n-fukushi.ac.jp/
kenken/news/2023/231206/
23120061.html](https://www.n-fukushi.ac.jp/kenken/news/2023/231206/23120061.html)福祉用具等の開発や住環境の改修等に係る企業の方、住環境
の中で福祉用具等の利活用を考えている方など、テーマに関
心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。運営 日本福祉大学 健康科学研究所
・福祉テクノロジーセンター

勉強会の趣旨など

昨年度に続き今年度(2023年度)も、愛知県福祉用具等開発支援事業として日本福祉大学の健康科学研究所運営のもと、「福祉の次世代産業を拓く勉強会(以下、勉強会)」を開催します。今年度は、日本福祉大学健康科学部の毛利志保准教授が担当し「在宅介護促進に向けた住まいのアレンジと介護ロボットの普及」と題して、勉強会を複数回開催する予定です。

高齢者が住み慣れた家で暮らし続けるにはバリアフリー改修などが不可欠です。それぞれの人が必要とする生活の実現に向け、実際の改修には課題が山積しています。中でも福祉用具と連携した在宅ケア環境の構築はとても重要ですが、今回の勉強会ではさらに進んで在宅介護における介護ロボットの利活用を視野に、その普及と在宅リフォームの可能性および両者のマッチングなどを探ります。そこから新たな介護ロボットの改善や開発、最適な住宅改修プランニングに繋がっていくことを期待しています。

そのため、国立長寿医療研究センターの加藤健治先生(同研究センターの健康長寿支援ロボットセンター・ロボット臨床評価研究室室長)にご協力をいただき、勉強会の第1回は長寿医療研究センターの「リビングラボ」で開催いたします。厚生労働省は高齢者自立支援や質の高い介護の実現のために介護ロボットの開発・普及の加速化事業を進めていますが、「リビングラボ」は同事業に参画し、現場ニーズに即した介護関連テクノロジーの開発などを支援する拠点となっています。まず「リビングラボ」での研究にも触れて、ディスカッションを進め、第2回勉強会(1月以降、日本福祉大学キャンパスにて開催予定)の議論に繋がっていきたいと思います。

講師紹介



毛利 志保

日本福祉大学
健康科学部 福祉工学科
建築バリアフリー専修 准教授



加藤 健治 氏

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
健康長寿支援ロボットセンター
ロボット臨床評価研究室 室長

会場案内

国立研究開発法人 **国立長寿医療研究センター** 〒474-8511 愛知県大府市森岡町7-430

J R東海道本線 大府駅(西口)から(または大府市内から)

知多バス(大府(循環)線)「長寿医療研究センター」下車
大府市循環バス「長寿医療研究センター」下車
タクシー 長寿医療研究センターまで約8分

J R武豊線 緒川駅(東口)から(または東浦町内から)

東浦町運行バス(1. 長寿線)(5. 長寿医療研究センター直行便)「長寿医療研究センター」下車
タクシー 長寿医療研究センターまで約10分

詳しくは次の長寿研のページを参照 <https://www.ncgg.go.jp/ncgg-overview/access.html>

お問合せ: 日本福祉大学 研究課 (担当: 朝川, 榎本)

〒470-3295 知多郡美浜町奥田
tel: 0569-87-2324 fax: 0569-87-3973
e-mail: kenkyu@ml.n-fukushi.ac.jp